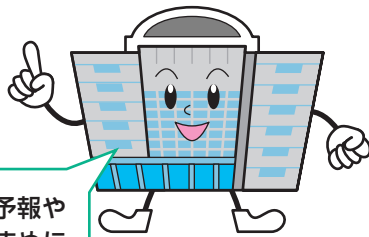


# 災害情報について

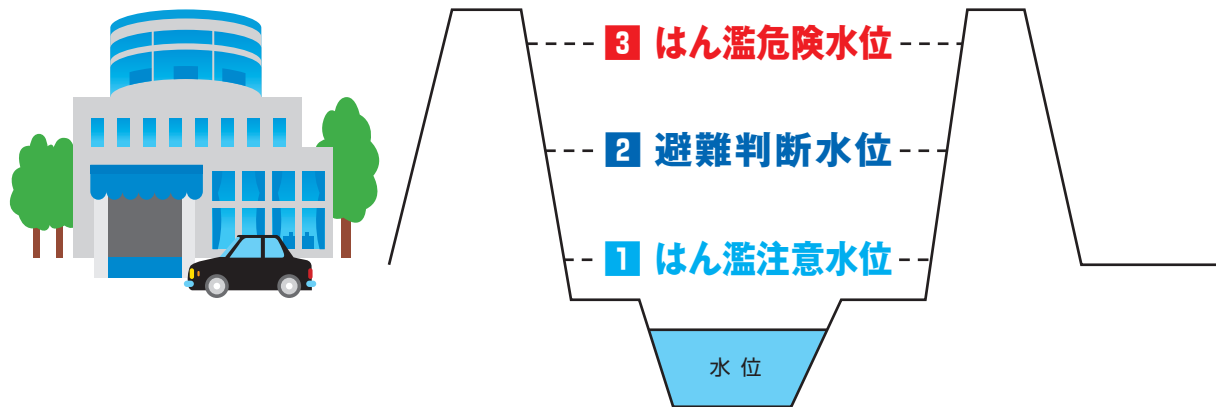


災害はどうやって知ることができるのかなあ？

災害から身を守るためには、天気予報や河川情報などを正しく理解し、こまめに情報を得ることが必要です。



## 1 河川の水位について



### 1 はん濫注意水位

洪水に備え消防団などが出動し警戒にあたる水位。

### 2 避難判断水位

市が避難勧告を出したり住民の自主避難の目安となる水位。

### 3 はん濫危険水位

洪水により相当の家屋浸水などの被害を生ずる恐れのある水位。

※これらの水位は、特に水防上重要な河川に設定されています。

## 2 情報の入手について



テレビやラジオは雨や台風の状況などの最新情報を放送するので入手に努めましょう。



市の広報車や河川沿いなどに設置してある同報無線の呼びかけに注意しましょう。

## 3 避難勧告などの発令目安について

情報の種類	どんなとき発令されるの？	どうやって知るの？	そのときどうすればいいの？
避難準備情報	河川の水位がはん濫注意水位を超え、引き続き水位の上昇が見込まれる時	テレビ・インターネット・携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動に時間を要する人(要援護者など)…避難場所への避難行動を開始(避難支援者は支援行動を開始)</li> <li>通常の避難行動ができる人…家族との連絡や非常持出品の用意など、避難準備を開始</li> </ul>
避難勧告	河川の水位がはん濫危険水位又は避難判断水位を超える恐れがある時	ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の避難行動ができる人…避難場所への避難行動を開始</li> </ul>
避難指示	河川の水位がはん濫危険水位を超え、引き続き水位の上昇が見込まれる時	消防車・広報車 同報無線	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に避難中の人…確実な避難行動を直ちに完了</li> <li>避難していない避難対象の人…直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動を開始</li> </ul>

## 4 気象や河川についての情報が、ホームページなどで見られます

### 北陸地方、新潟県の災害情報・気象情報・河川情報など

国土交通省北陸地方整備局ホームページ

● <http://www.hrr.mlit.go.jp/> 信濃川、阿賀野川の情報も見られます。

国土交通省防災情報センターホームページ(川の防災情報)

● <http://www.river.go.jp/>

● 携帯 <http://i.river.go.jp/>

新潟県土木防災情報システム

● <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/>

気象庁ホームページ

● <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

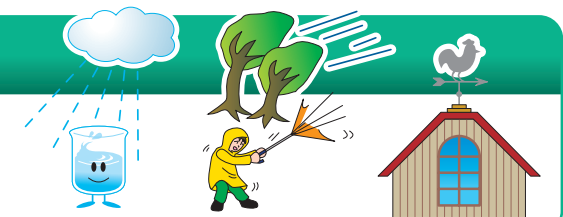


### 新潟市の地域ごとの雨量、風速、風向

新潟市危機管理・防災課ホームページ

● <http://www.city.niigata.niigata.jp/>

● テレホンサービス 025(226)7172



### 雨の強さと降り方(気象庁ホームページより抜粋)

平成12年8月作成(平成14年1月一部改正)

1時間雨量(ミリ)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて	災害発生状況
30以上~50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	傘をさしてもぬれる。		道路が川のようになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50以上~80未満	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80以上~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。					雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

## 地下空間について

豪雨・洪水時の地下空間は非常に危険です。早めに避難を!

地下室では外の様子がわかりません。

浸水すると電気が消え、エレベーターは止まります。

地上に出る階段などから一気に水が流れ込み避難が困難になります。

浸水すると水圧でドアが開かなくなる恐れがあります。

